

*** ある日の育児記録から ***
 ***** (1) 佐藤 和代 ***



わが家の一人娘・圭は、一歳六か月「マンマ」「ワンワン」など、簡単な単語が言えるようになりました。言える言葉は少なくとも、その合い間に「ブーアグアン」と、わけのわからない発音に加わって、けっこううるさいのです。ちよっと聞くと、長い文章を話しているよう。何となく日本語らしい抑揚がつかののおかしいところです。

以前私は、圭がいつどんな言葉を覚えるかを細かく記録しておこう、なんて思っていました。でも、そんな気はいつの間にか失せてしま

いました。だって圭は、「マンマ」しか言えない頃、よく、好きな歌のテープを持ち出し、レコーダーを指して、「アー」と言ったものです。誰かがこれを見ていて、なおかつ『さとうけい、言葉数1(マンマ)』なんて記録したら：怒りますね、私は。何よ！この「アー」は誰が聞いたって「かけて」ってことじゃないの！

かくして幻となった『圭の言語発達記録』。

別にそれを惜しむ声もなく、わが家は今、圭が「お父さん」と「お母さん」の、どちらを先に言うかで、ひそかに火花を散らしています。

